

教科	国語	科目	現代文	学年	4	単位数	4	担当者	李香秀
指導目標	評論・小説・詩歌など様々な種類の文章に触れて、趣旨を読み取る力を養い、また様々な考えを知ることで自らの考えを表現し、伝える態度を身につけ、社会で役立つ文章能力を養う。								
学習者への注意	要約や説明など文章表現を自らさせ、読み取ること、感じ伝えることで、文章を深く理解させる。								
使用教科書	新編 現代文 B 《東京書籍》								

学期	月	実施時数	単元	内容	評価の基準
1	4	5	・「最初のペンギン」 (評論)	○論理の展開を学ぶ ○内容から筆者が伝えたいことを整理し理解する。	★中間考査 ★期末考査 ※毎時間ファイル提出
	5	7	・「さくらさくらさくら」(随想)	○桜を通し日本人としての感覚や思いを感じ取る。 ○短歌の表現を理解する。	
	6	11	・「こころ」(小説)	○著名な小説を読んで、言々関係の複雑さと表現の巧みさを理解する。	
	7	1		○文学史を学ぶ。	
2	9	9	・「山月記」(小説)	○文章を音読し、漢文調の文章の面白さを理解する。 ○登場人物の心情を理解する。 ○明治時代の文学史を学ぶ。	★中間考査 ★期末考査 ※毎時間ファイル提出
	10	9	・「カフェの開店準備」 (随想)	○単元の内容と自身の生活を比較し、筆者が伝えたいことを整理し理解する。	
	11	10	・「ホンモノのおカネの作り方」(評論) ・「山椒魚」 (小説)	○経済の本質を理解する。 ○場面の変化とともに変化する登場人物の心情を深く読み取る。	
	12	2		○言葉の表現を学ぶ。	
3	1 2 3	4	・「永訣の朝」 (詩歌)	○詩を音読し、詩の面白さを知る。 ○理解・鑑賞の仕方を学ぶ。	★学年末考査 ※毎時間ファイル提出